

B-125 可動モデル(脚部)に関する基礎的研究 (1) 歩行中の臀部の動き

福井大工 石川左武郎

愛知淑徳短大 ○竹下弓子 西尾好子

目的 歩行中のスカートの美しい揺れ方は、スカート布地の性質と共に、脚及び臀部の動きが密接に関係している。然し乍ら、脚・臀部の詳細な知見は必ずしも得られていない。従来、静的モデルは多いが、動的モデルは見当らない。そこで、動的モデルを作るため、臀部の運動に関する基礎的資料を求めた。

方法 8ミリニネカメラで人体の動きを背面からとらえる目的で、臀部に目印をつけ、歩行中の目印の動きを8ミリニネカメラで観察し、その動きの変化を時系列で整理した。

結果 臀部の動きは歩行周期に伴って、上下・左右方向に周期的な動きをする。周期は通常の歩行条件で約1/秒(左または右脚)、臀部の上下方向の移動距離(A)は±1cm程度、両臀部を結ぶ距離(B)、歩行に伴う臀部傾斜角(C)及び傾斜速度は歩行サイクルに従って規則正しいサイクルを示す。

但し、上下・左右方向への移動量及び臀部の傾斜角には個人間で多少の差があることが観察された。

